

# 令和5年度「地域学校協働本部事業」 放課後子ども教室の取組事例

## 「地域の子どもは地域で育てる」(福島県 相馬市)

### 取組の概要や経緯

小学校を利用して放課後の子どもたちの居場所をつくり、地域のボランティアの協力を得ながら、大人と子どもが共に様々な体験活動を行うことにより豊かな心を育む。

### 内容

- 市内9小学校全校で実施。各教室で地域の実態に合った内容を展開する。
- 自由にのびのび遊ばせることを中心に活動しており、宿題をしてから遊ぶ教室もある。
- 季節の行事、夏休み教室、お楽しみ会など楽しいイベントを企画し、各教室が特色ある活動を行っている。
- 子どもたちの災害時の安全確保のために、全教室にて地震や火災を想定しての避難訓練を実施している。

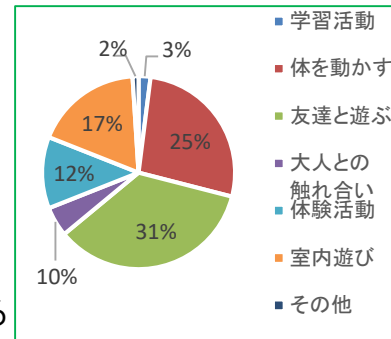


### ポイント

- 各教室で地域の実情にあわせた形で実施している。
- 各教室代表者の会議を学期ごとに開催し、情報共有や課題解決に努めている。
- 各教室で新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を講じて実施している。

### 成果

- アンケートを登録児童の保護者に実施。
- 登録児童287人中254人が回答（回収率約89%）
- 子どもたちが放課後子ども教室のどのような活動を楽しみにしているか調査したところ、「友達と遊ぶ」が最も多かった。その他の寄せられている意見も、地域の大人に見守られた安全な空間で、学年を超えた交流をすることへの期待や満足度が高い内容のものが多く、子どもの豊かな心の育成へ貢献できていると考える。



### 今後の方向性

- 保護者への声かけや地域住民へのチラシ配布等により、幅広い年代のスタッフを確保するとともに事業の発展に努める。
- 各教室ごとの課題を解決できるよう、定期的な会議の開催や情報共有の機会を設け、市内全小学校での活動を継続していく。
- 放課後子ども教室の活動内容について、チラシを作成したり学校のPTA総会等で説明したりすることで登録児童数の確保を目指す。